



十和田市立中央病院

病院ニュース さわらび

平成 28 年 4 月 1 日号



新年度あいさつ

病院事業管理者 松野正紀



当院は多くの市民、外郭団体やボランティアの方々に支えられて運営されています。昨年度だけをとりにしても、百切会、十和田支援会、十和田稲生ライオンズクラブから車椅子、玉ノ会からは自動血圧計、上十三歯科医師会からは歯科診療ユニット一式、おりひめ会からは絵本・遊具等が寄贈されています。なかには継続的に毎年ご寄付いただいている団体もいくつかあります。経営状況の厳しい当院にとりましては誠に有り難く、改めて関係者に感謝申しあげる次第です。

皆さんすでに御存じと思いますが、5年前から MOA 美術館十和田児童作品展実行委員会が、当院の本館と別館をつなぐ渡り廊下を利用して、市内の子供たちの作品を展示しています。その入賞者の表彰式も病院ふれあいまつりの際、本館 1 階ロビーで毎年行っており、その他生け花をロビーの一角に飾ったり、茶の湯のコーナーを設けたりしています。

その活動が、病院利用者の心に癒しを与えるとして、昨年度の厚生労働大臣賞に選ばれました。大変目出度いことです。この 1 月 31 日に表彰式がありましたが、実行委員会が受賞した大きな賞状と楯が、近いうちに渡り廊下にお披露目されることになるでしょう。

4 月から新年度が始まります。私たちはこのような各種団体や個人の地道な努力により、院内に心地よい潤いを与えられていることに思いを致し、感謝の気持ちをもって日頃の業務に励んでいきたいと思ひます。





新年度あいさつ

ノンテクニカルスキル

院 長 たんのひろあき 丹野 弘晃



先日、「臨床栄養におけるリスクマネジメント」をメインテーマにした栄養関連の学会に参加した際、医療安全に関する特別講演を聴講する機会に恵まれました。「ノンテクニカルスキル」も皆さんもお聞きになったことがあるかと思いますが、主に医療安全関連で良くお目にかかる言葉ではないでしょうか。私自身、テクニカルスキルは専門的な技術のことであり、ノンテクニカルスキルはほぼコミュニケーション能力と同じこと位にしか理解しておりませんでした。

成書によれば、ノンテクニカルスキルとは「テクニカルスキルを補って完全なものとする認知的、社会的、そして個人的なスキルであり、安全かつ効率的な業務遂行に寄与するもの」とされています。文章化すると分かりにくいように感じますが、我々専門職のいわゆるプロのスキル以外の、現場で感じた必要なもの・大切なものすべての総称ということになると思います。具体的には、コミュニケーション能力・状況認識能力・意思決定能力・リーダーシップ能力・個人的要因等と、大変幅広い概念になっています。これは普遍的な面もあり、業務を遂行するためだけではなく、日常生活や家庭生活への応用も可能な能力と理解することもできます。そして最も重要と思われる点は、ノンテクニカルスキルは学ぶことが可能で向上させることができるということです。まだまだ伸びしろのあるスキルではないかと思い当たりました。

さて、当院の今年度の具体的な目標は、地域医療構想や診療報酬改定そして病院機能評価更新等を踏まえて「見直し・再評価」としております。諸々の外圧をうまく利用して、あらゆる面から当院の有り様を見直し、再評価し、カイゼンに繋げる年、まさに「内なる新病院建設」の年と位置付けております。

この実現のためにも組織としてノンテクニカルスキルを意識すること、そして繰り返しになりますが学べるもので向上させることができるものであると認識することは、極めて有用であると思います。これは「見直し・再評価」の流れの中で必ず必要になってくるスキルでもあります。ノンテクニカルスキルを現場で意識し、それを評価し合える組織文化を院内連携・院外連携の現場で醸成し、さらに磨き上げて行きましょう。当院の一体感のある取り組みが連携施設の皆様にも理解していただけるように、一層の情報発信に努めますので、本年度もどうぞよろしくお願い致します。





新看護局長 就任あいさつ

看護局長 やなば 築場 りりこ 理利子



この度、看護局長を拝命いたしました築場理利子と申します。

地域の医療関係機関の皆様には日頃より大変お世話になっており感謝いたしております。

昨年度末に、県が医療構想素案として、上十三医療圏の急性期医療の中核と方向性を示しました。私達病院職員は、公的中核病院として、急性期病院としての役割を果たす為に今以上にそれぞれが専門職としての力を発揮していかなければならないと考えています。そして、最大限の力を発揮するために、各職種の知識と技術を出し合いチームで取り組むことが重要であると考えます。

また、超少子高齢化が進むなか 2025 年問題に向けて、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、地域包括ケアシステムの構築を進めていかなければならないと考えています。

看護局ではそのような課題に対し、病院理念に則って「いのちをみまもり、いのちをささえ、いのちをつなぐ看護の実践」を看護局の理念として掲げ、患者様により質の高い看護を提供すべく日々努力しております。

具体的には、7 分野の認定看護師（救急看護認定看護師 1 名、皮膚・排泄ケア認定看護師 2 名、がん化学療法認定看護師 1 名、緩和ケア認定看護師 1 名と 1 名入学、感染管理認定看護師 1 名、透析看護認定看護師 1 名、糖尿病看護認定看護師 1 名）がチーム活動ではリーダーシップを発揮するとともに、看護外来、同行訪問等も展開しています。

また、精神障害者社会復帰のための訪問看護の他に、昨年度は看護局内で退院支援チームを発足させ、患者様が在宅療養にむけてスムーズに地域連携ができるよう取り組んでいます。その他、看護師達は認定看護師資格取得以外には、病院経営の参画のため自費で様々な資格取得や研修に自主的に取り組み積極的にキャリアを磨いています。

私は、昨年までの副看護局長としての 8 年間、医療安全管理者 4 年・教育（人材育成）4 年を行ってきましたが、4 月からは看護局長として次のことを念頭に努力していきたいと考えております。

- ・患者様に自分の家族のように親身になって心配りができる、感性豊かな看護師を育成すること。
- ・質の高い看護を提供することで、たとえ多忙であってもいきいきと達成感をもてる環境作りに取り組むこと。
- ・モチベーションをコントロールできる、自律した前向きな看護集団となれる風土づくりに取り組むこと。
- ・病院経営の課題の解決にも貢献できるよう努力していくこと。

未熟ものですので、院内職員はもとより、地域の医療関係機関の皆様にはご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。



歯科診療ユニットが新しくなりました。

業務課 施設管理係 白山 利明



去る3月12日、5階西歯科治療室に設置されていた、歯科診療ユニットが上十三歯科医師会のご尽力を賜り、新しい診療ユニットへ更新されました。

3月25日、同場所において上十三歯科医師会会長 黒田様にご臨席頂き、引渡式が行われ

ました。今後、定期的に歯科治療をするために、活用させていただきます。大変ありがとうございました。



左から
丹野 院長、
松野 事業管理者、
上十三歯科医師会
黒田 会長、
青の森歯科医院
坪田 院長



ご寄附をいただきました。

去る3月29日(火)に、当院の看護局長として病院の発展にご尽力くださいました小又恭子様より、退職記念品として「シチズン電波壁時計(直径55cm)1台」「セイコー湿温度カレンダー付電波壁時計(直径35cm)2台」「アクア2ドア冷凍冷蔵庫(910)1台」が寄贈されました。

在任中、会議や研修の際に時計の時間がずれていることや、1階エントランス壁面時計の時間のずれに患者さんが不便を感じていることをすごく気にしておられたので、正確な電波時計を寄贈するきっかけになったのだと思います。

時計はそれぞれ、1階エントランス・看護管理室・カンファレンス室に、冷蔵庫は看護当直室に設置されております。とてもしっかりしたものですので、長く愛用させていただきたいと思います。ありがとうございました。



外来担当医表

外来診療担当医表は随時更新しております。下記のURLからのご確認をお願いします。

<http://www.hp-chuou-towada.towada.aomori.jp/03sinryo/03gairaiDoctorList.html>